



# 登壇者プロフィール（敬称略・五十音順）

## 大野 敬太郎



### 衆議院議員

1968年11月1日生まれ。東京工大卒・同大院修士修了・東京大学博士号取得。富士通研究所・米国カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー・国務大臣秘書官・東京大学産学官連携研究員などを経て、第46回総選挙で初当選。防衛大臣政務官、党副幹事長などを経て、内閣府副大臣（経済安全保障・防災等担当）を務めた。

## 齊藤 孝祐



### 上智大学総合グローバル学部 准教授

筑波大学大学院人文社会科学部国際政治経済学専攻修了、博士（国際政治経済学）。専門は国際政治学、安全保障論、科学技術、イノベーション。著書に『軍備の政治学』（白桃書房、2017年）、「デュアルユースの政治論—科学研究と安全保障はいかに向き合うか—」（『安全保障の位相角』法律文化社、2018年）、「米国におけるAI戦略の展開とコンセンサス形成の課題」（『軍縮研究』11巻1号、2022年）など。

## 角南 篤



### 公益財団法人笹川平和財団 理事長

公益財団法人笹川平和財団理事長。政策研究大学院大学学長特別補佐・客員教授。内閣府参与（科学技術・イノベーション政策担当）等を経て、内閣官房、内閣府、文部科学省、外務省などの有識者委員を務める。専門は科学技術イノベーション政策。ジョージタウン大学School of Foreign Service卒業。コロンビア大学国際関係学修士、同大学政治学博士号（Ph.D.）取得。

## 田中 武久



### 株式会社パナソニック総研 主幹研究員

1987年に松下技研株式会社に入社。ニューラルネットワーク、画像処理・認識の研究開発に従事した後、2000年からは、松下電器/パナソニック株式会社にて、経営企画、システム系開発部門の開発部長、全社技術戦略策定・推進、マレーシア研究所所長などを担当。現在は、2021年4月に新設の株式会社パナソニック総研に出向し、経済安全保障、環境問題などの調査・分析に従事。IEEE、映像情報メディア学会、研究・イノベーション学会会員。

## 土屋 貴裕



### 京都先端科学大学経済経営学部 准教授

慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科卒業。一橋大学大学院経済学研究科修了。防衛大学校総合安全保障研究科後期課程卒業。博士（安全保障学）。外務省国際情報統括官組織第二国際情報官室専門分析員、在香港日本国総領事館専門調査員などを経て現職。専門は公共経済学、国際政治経済学、安全保障論など。近著に『米中の経済安全保障戦略：新興技術をめぐる新たな競争』（共著、芙蓉書房出版、2021年）などがある。

## 渡辺 哲也



### 経済産業研究所（RIETI）副所長、東京大学公共政策大学院 客員教授

経済産業省通商機構部長、内閣官房TPP政府対策本部参事官を歴任、通商政策や国際交渉の第一線に携わる。現在はRIETI副所長として「グローバル・インテリジェンス・プロジェクト」をリード、経済安全保障、気候変動、デジタル経済、スタートアップ、中国経済などの情報収集・分析や政策提言を推進。チャタムハウス等が開催する「グローバル・トレード・シリーズ」のレギュラーメンバーである他、英アジアハウス、欧州ブリュッセル、独外交問題評議会などのシンポジウムに登壇、激動する国際情勢と日本の役割について発信を続ける。

